

Course number		U-LAS20 10001 SB48					
Course title (and course title in English)		英語リーディング ER30 1S5 English Reading		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Part-time Lecturer, NISHIMOTO NOA	
Group	Languages		Field(Classification)				
Language of instruction	Japanese		Old group	Group C		Number of credits	2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)		Year/semesters	2025・First semester	
Days and periods	Mon.1		Target year	1st year students		Eligible students	For all majors
[Areas of skills]							
Academic Reading							
[Overview and purpose of the course]							
<p>本授業の目標は、高校までの詰め込み英語学習から一旦離れ、英語で書かれた学術記事を通じて、科学の楽しさを体感し、学術英語技能と科学のセンスを研ぎ澄ますことです。授業では講師と学生との双方向コミュニケーションを重視しています。指定教科書の他に、毎回小さな議題を設定するので、自分なりの意見や主張を考え、それを他者にうまく伝える工夫をしましょう。相手の意見にも耳を傾けましょう。そうすることで、色んな興味関心や背景を持つ学生と議論することで知の相乗効果を図ります。</p> <p>* 英語力の実用面では毎回簡単に短いテキストのディクテーションとシャドーイングを10分ほど行い普段使わない脳と口の筋肉を動かします。</p>							
[Course objectives]							
<p>この授業では、(1)英語で書かれた学術記事の講読を通じて、学術英語に慣れ、それを使いこなす技術を習得すること、(2)日常生活の小さな疑問や出来事を、異なる価値観や様々な学術領域から考察する能力を培うこと、(3)日本語と英語の両方で自分の伝えたいことを他者にわかりやすく伝える能力(プレゼンテーション能力)を養うことの3点を主な目標とします。授業を通じて、学術の器と人間の器の両面を広くするために切磋琢磨していきます。</p> <p>* 英語の実用面では、毎回シャドーイングとディクテーションを行う。</p>							
[Course schedule and contents)]							
<p>授業では教科書として、The coming of age of quantum biology: Life on the Edge (「量子力学で生命の謎を解く」)を読んで皆で議論していきます。</p> <p>黙々と読んで訳す授業ではなく4技能を駆使したアクティブな授業です。短い英文テキストのシャドーイングとディクテーションで普段使っていない脳を動かしたり、関連する英語の映像資料などを適宜視聴します。</p> <p>(1) Introduction 授業オリエンテーション、大学で学ぶ英語とは、この授業で使う教科書について、自己紹介、書籍の紹介</p>							
Continue to 英語リーディング ER30(2)							

英語リーディング ER30(2)

- (2) Introduction 量子生物学という領域、学術書籍の序論やはしがき、著者の研究への熱意や科学者のあり方
- (3) Chapter 2 What is life? 生命とは何か
- (4) Chapter 3 The engines of life 生命のエンジン
- (5) Chapter 4 The quantum beat 量子のうなり
- (6) Chapter 5 Finding Nemo's home ニモの家を探せ
- (7) Chapter 6 The butterfly, the fruit fly and the quantum robin チョウ、ショウジョウバエ、量子のコマドリ
- (8) Chapter 7 Quantum genes 量子の遺伝子
- (9) Chapter 8 Mind 心
- (10) Chapter 9 How life began 生命の起源
- (11) Chapter 10 Quantum biology: life on the edge of a storm 量子生物学－嵐の縁の生命、受講生の英語での口頭発表と質疑応答
- (12) Epilogue: quantum life 量子革命、受講生の英語での口頭発表と質疑応答
- (13) 受講生の英語での口頭発表と質疑応答
- (14) 受講生の英語での口頭発表と質疑応答
- (15) フィードバック

[Course requirements]

Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".

[Evaluation methods and policy]

5回以上欠席した場合は成績評価の対象としない。

平常点60%、期末レポート試験40%

授業中の自由で積極的な発言と、自ら主体的に調べて学ぶ姿勢を評価します。学術英語技術を習得する授業なので、必要に応じて、より適切な英語の発音やアクセント、イントネーション、表現に授業内では誘導していきますが、成績評価では、英語の発音の正確さや流暢な英語力だけではなく、むしろ予習、復習そして積極性や主体性を重視します。

インターネットでの情報検索は上手に使い、検索して得る情報と、自分の中に吸収して自身の血や肉となる知識や技術とは分けて考えましょう。

[Textbooks]

John Joe McFadden and Jim Al-Khali 『The coming of age of quantum biology』 (2016) ISBN: 9780307986825 (キンドル版、ペーパーブック、オーディオ等あります)

配布資料等は授業内で共有いたします。

[References, etc.]

(References, etc.)

その他関連図書・分野

ファインマンの物理学、カオス理論、生命の起源、量子進化、科学技術史、科学社会学、量子生物学、シュレーディンガーの猫など、自分の関心のある領域の文庫本などを斜め読みしておく、より楽しく本を理解できます。

(Related URL)

http://bizboard.nikkeibp.co.jp/academic/latest_list/mag_SCI.html (日経サイエンス (京都大学IDで閲覧できます))

<https://www.newtonpress.co.jp/newton.html> (科学雑誌ニュートンシリーズ)

Continue to 英語リーディング ER30(3)

英語リーディング ER30(3)

[Study outside of class (preparation and review)]

授業の予習として、わからない英単語や用語は事前に調べておいてください。授業では双方向コミュニケーションを重視していますので、積極的に発言しましょう。

予習や復習は原則ですが、予習ができなかった週でも、技能の授業は出席して得るものがあります。前週前夜体調不良等で予習ができなかった日は、授業時間に集中して積極参加し、知的な刺激を得て帰るようにしましょう。

技術習得科目なので出席し週一回でもその場で音読したりシャドーイングやディクテーションをするだけでも意義と効果は確実にあります。

「英語が苦手」「英語の発音は得意ではない」「英語はあまり喋れない」「リスニングは苦手」と思っている、問題ありません。学術英語は訓練すれば誰でも身につけることのできる技術です。

[Other information (office hours, etc.)]